

主要施策名：(3)スポーツ活動の充実

事務事業本数：7

基本目標(章)	主要施策(節)	所管課	事務事業コード	事務事業
②人と文化を育む地域づくり	(3)スポーツ活動の充実	スポーツ振興課	231-01	市民スポーツ振興事業
			231-02	マラソン大会運営事業
			231-03	たまな子ども放課後スポーツ教室事業
			232-01	体育団体運営支援事業
			232-02	競技スポーツ大会補助事業
			233-01	体育施設管理運営事業
			233-02	多目的競技場建設事業

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市民スポーツ振興事業		所管課 【2】	スポーツ振興課		
			作成者(担当者)	早稲田 宗一郎		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり				重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実				
	施策区分	(1)生涯スポーツ活動の普及振興				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約					
	■ 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法 】					
事業区分 【6】	■ その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
	■ ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業					
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【					款 10 項 6 目 1 細目 2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域生涯スポーツを通して、健康づくり、体力づくりへの意識を向上させる必要があるとともに、全市的なスポーツレクリエーションの実施により、市民の交流、地域間の融和を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市民、公民館支館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	地域生涯スポーツや地域間の融和を目的としたスポーツ交流事業の推進により、スポーツを通じた市民の交流や生涯を通じての健康の保持、増進及び余暇活動の充実を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容 【14】	スポーツ大会時に発生した事故に対する見舞金を支給する。 21支館にスポーツ大会の開催・運営を委託する。		【15】 事務事業を構成する細事業(2)本
			① スポーツ事故見舞金
			② 地域スポーツ振興委託事業
			③

《事務事業実施に係るコスト》

			R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	962	1,056	1,030	1,156	0
		【16】 小 計	962	1,056	1,030	1,156	0
	職 人 員 件 の 費	職員人工数	0.10	0.10	0.10	0.10	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
		【17】 小 計	543	555	573	575	
	合 計		1,505	1,611	1,603	1,731	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① スポーツ事故見舞金	スポーツ大会での怪我等に対する見舞金。	見舞金件数	件数	0	0	0	
② 地域スポーツ振興委託事業	各支館にて実施するスポーツ行事振興委託。	委託支館数	支館	21	21	21	
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	
1	市民スポーツ大会参加者数(全市民対象事業)	スポレクフェアの合計参加者数	人	150	150	150	150
				176	180	0	
2							

《事務事業の評価》

評価視点			判断理由
(必要妥当性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	地域間の融和を図るため必要
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	地域のスポーツ振興のために変更する必要はない
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	地域コミュニティの衰退、スポーツ振興ができなくなるため、市民への影響が考えられる
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	昨年度は、スポレクフェアと選挙の日程が重なり、スポレクフェアが中止となった。
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的達成するために必要な構成である
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	各地域への運営費であり、削減の検討余地はない
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	委託料を支出しているのみであるため、簡素化の検討余地はない
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	地域支館によって運営しているため、検討の余地はない
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	各地域で事業実施しているため統合は難しい
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	支館対抗駅伝、各地域のスポーツ大会は参加料を徴収していない

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	各地域スポーツ大会に係る委託料の支出は、現状のまま継続する。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 現在、コミュニティの希薄化などが問題視されている。その中で、支館活動をはじめとしたスポーツを通じた活動は今後より一層重要となると考えている。R6年度は中止となったが、スポレクフェアについては近隣の市町とも連携した事業であるため、包括的なコミュニティ形成のためにも現状のもとで継続しながら実施していきたい。
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容	各地域スポーツ大会に係る委託料の支出は、現状のまま継続する。今後、スポーツ事故見舞金のあり方について検討していく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	市民の健康増進及び生きがいづくりとして地域におけるスポーツの振興は不可欠であり、今後も支館活動を中心に本事業を継続する。	評価責任者 古賀 祐一郎
-------------------	--	-----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

[illegible]

《事務事業の目的》

<p>事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)</p> <p>【8】</p>	<p>小学校の部活動が社会体育となり、クラブ活動を行う児童と全く行わない児童の2極化が進んでいる。スポーツに触れ合う機会が少ない、または苦手なことを理由に運動を行わない児童のための受け皿が少ない。</p>
<p>対象 (誰、何に対して、受益者等)</p> <p>【9】</p>	<p>小学4～6年生を対象。</p>
<p>意図 (どのような状態にしたいか)</p> <p>【10】</p>	<p>放課後の時間に学校施設を活用し、児童が安全、安心して楽しく参加できる教室を開催することで、心の豊かと健やかさを育みつつ、運動が好きになることや運動能力の向上を図る。</p>

《事務事業の概要》

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 R6 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】	
事務事業の具体的内容	基礎体力、運動能力の向上を図るため、様々な種目を行う。 スポーツに対する関心や興味を持たせ、将来にわたる競技人口の増加や競技力向上につなげる。 週2回、小学校施設での運動教室を実施し、開催する学校や種目は参加者や講師の状況をみながら計画する。 (週2回、1時間から1時間半程度の基礎運動または種目の実施。)	<div> <div>⇒</div> <div> <div>【15】 事務事業を構成する細事業(1)本</div> <div> <div>① たまな子ども放課後スポーツ教室事業</div> <div>②</div> <div>③</div> </div> </div> </div>

《事務事業実施に係るコスト》

			R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	1,001	1,240	0
		【16】 小 計	0	0	1,001	1,240	0
	職人 件費	職員人工数	0.00	0.00	0.05	0.05	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
		【17】 小 計	0	0	286	288	
合 計		0	0	1,287	1,528		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① たまな子ども放課後スポーツ教室事業	放課後の空き時間を利用し、子供たちの運動能力向上のため、教室を実施する。	教室の実施数	回	***	***	59	60
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	R07実績
1	放課後に運動をしていない子供に対して、運動能力低下を防止するための事業を行う。	事業参加登録者数	人	***	***	20	30
				***	***	59	
2							

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必要 妥当性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 児童の運動能力向上を図る必要があるため
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 引き続き児童の運動能力向上を図る必要があるため
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 参加者の活動の場が失われるため影響あり
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 参加者が想定を超える人数となった
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的達成のため必要な構成である
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 参加者から参加料を徴収し、コスト削減に努めている
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 検討の結果、見直しはない
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり NPO法人のノウハウにより実施している
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 中学校部活動移行事業との統合の余地もあるため
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし すでに参加料を徴収している

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 令和6年度からの事業
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容 【26】	参加する子供たちが望む事業の展開や当初目的である運動能力低下を予防するための事業となるよう、委託するNPO法人と協議しつつ改善する。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	児童の体を動かす機会を確保し、様々なスポーツを経験させることでスポーツに対する興味・関心を高め、日常的にスポーツに関わるきっかけづくりするとともに、統合校におけるスクールバス導入に伴う児童の体力低下の予防を視野に入れた取組であり、今後においてもまずは統合校を中心として取組を推進する。	評価責任者 古賀 祐一郎
----------------------	--	-----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	体育団体運営支援事業		所管課 【2】	スポーツ振興課		
			作成者(担当者)	明石 和貴		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり				重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実				
	施策区分	(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 ■ 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法、スポーツ推進委員に関する規則 】 ■ その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	■ ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業					
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【 款 10 項 6 目 1 細目 3					

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各スポーツ団体の融和や各種目スポーツの競技力の向上、社会体育指導者の育成を図るためスポーツ団体組織への支援と組織力の強化が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市スポーツ協会、玉名市スポーツ推進委員協議会及び熊本県スポーツ協会の運営・活動
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	各競技スポーツの育成及び競技力の向上、地域生涯スポーツの推進と地域間の融和を目的としたスポーツ交流事業の推進による生涯スポーツの充実を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度 】 【 H17 年度から 】 【 年度～ 年度まで 】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	競技スポーツの競技力向上や選手又は指導者の育成、地域スポーツ活動の普及促進を図るために、玉名市スポーツ協会や玉名市スポーツ推進委員協議会等の運営や活動に対して補助金の交付等により支援を行う。		【15】 事務事業を構成する細事業(4)本
			① 玉名市スポーツ協会運営支援事業
			② スポーツ推進委員協議会等運営事業
			③ 熊本県スポーツ協会スポーツ振興事業

《事務事業実施に係るコスト》

			R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,010	5,651	9,687	11,801	0
		【16】 小 計	6,010	5,651	9,687	11,801	0
	職 人 員 件 費	職員人工数	1.40	1.35	1.00	1.00	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
		【17】 小 計	7,601	7,498	5,727	5,752	
	合 計		13,611	13,149	15,414	17,553	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 玉名市スポーツ協会運営支援事業	スポーツ協会全体及び種目協会に補助し、競技力を向上させる。	交付件数(審判講習会、スポーツ教室補助金)	件	9	13	18	15
② スポーツ推進委員協議会等運営事業	スポーツ推進委員協議会への活動補助を行い、活動の推進を行う。	研修会参加数(全国、九州、県、市、新任研修会)	回	4	5	4	5
③ 熊本県スポーツ協会スポーツ振興事業	県スポーツ協会への負担金を納め、活動支援を行う。	負担金交付件数	件	1	1	1	1

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	
1	県民体育祭総合順位	県民体育祭出場全種目の男女総合順位	位	5	5	5	5
				—	9	7	
2							

《事務事業の評価》

	評価視点		判断理由	
(必要性) [20]	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	各スポーツ団体の融和や各種目スポーツ競技力向上のため必要。	
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	団体のスポーツ振興のため変更する予定はない。	
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	スポーツ振興ができず、地域コミュニティが衰退するため。	
有効性 [21]	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	県民体育祭については、総合7位の成績であった。今後も市の支援を継続する。	
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的達成するために必要な構成である。	
効率性 [22]	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	団体への運営費であり、削減の検討の余地はない。	
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	主なものは補助金、負担金の支出であるため簡素化の検討の余地はない。	
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	当面は市支援のもと運営する。	
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	団体で事業実施しているため統合は難しい。	
公平性 [23]	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	スポーツ団体による振興は、参加料を徴収していない。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況 [24]	(前回のふりかえりの内容)		
	玉名市スポーツ協会及び玉名市スポーツ推進委員協議会への支援は、今後も現状のまま継続する。		
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)		
次年度の方向性 [25]	スポーツ協会及びスポーツ推進委員協議会については、地域住民、団体を交えて取り組みを実施することができている。県民体育祭(天草大会)では総合7位ではあったが、今後も支援を続けることで競技力向上、競技人口維持、向上につながり、順位の上昇も期待できる。		
	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
	次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容		
	玉名市スポーツ協会及び玉名市スポーツ推進委員協議会への支援は、今後も現状のまま継続する。		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [26]	県民体育祭への参加、競技スポーツの普及及び技術力の向上並びに指導者の育成において、玉名市スポーツ協会をはじめ各種目団体の果たすべき役割はとても重要であること。また、スポーツ推進委員協議会が目的とする、地域スポーツの普及推進や各種スポーツ行事への協力活動は顕著であり、これらスポーツ関係団体を今後も積極的に支援する必要があると考え	評価責任者 古賀 祐一郎
-------------------	--	-----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	競技スポーツ大会補助事業		所管課 【2】	スポーツ振興課						
			作成者(担当者)	徳永 信太						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり				重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当				
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実								
	施策区分	(2)競技スポーツの組織強化と指導者の育成								
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法、玉名市全国大会等出場激励金交付要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし									
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業									
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務									
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	10	項	6	目	1	細目	4

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各種競技スポーツ大会が盛んになっており、小学生から全国大会へ出場する子供たちも増加している。また本市で例年開催されている競技についても、若手選手の育成を目的に実施している伝統競技など、その開催運営費について支援が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	全国大会及び国際大会出場選手(玉名市民に限る)、各大会運営実行委員会
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	全国大会等への出場選手並びにスムーズかつ盛んな競技大会の運営のために補助金等を交付し、競技スポーツの活性化及び向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	本市のスポーツ振興と競技力の向上を図るため、全国大会出場者に対して1万円、国際大会出場者に対して2万円の激励金の交付を行う。また、各競技大会実行委員会に対して大会運営補助を行う。		【15】 事務事業を構成する細事業(4)本
			① 全国大会出場激励金交付事業
			② 金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業
			③ くまもと玉名杯九州高等学校レスリング大会補助金事業

《事務事業実施に係るコスト》

			R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	9,158	9,494	10,025	12,364	0
		一般財源	1,820	1,939	1,860	2,600	0
		【16】 小 計	10,978	11,433	11,885	14,964	0
	職人 員 の 費	職員人工数	1.06	0.90	0.90	0.90	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
		【17】 小 計	5,755	4,999	5,154	5,177	
	合 計		16,733	16,432	17,039	20,141	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 全国大会出場激励金交付事業	全国大会以上の大会に出場する市民に対して激励金を交付する。	激励金交付者数	人	132	134	125	199
② 金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	1	1	1
③ くまもと玉名杯全九州高等学校レスリング大会補助金事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	0	1	1	1

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	
1	競技スポーツ大会参加者数	参加者数(玉名ハーフ、レスリング、駅伝)	人	1100	1000	800	900
				853	785	828	
2							

《事務事業の評価》

評価視点			判断理由
(必要 妥当性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	各種競技スポーツ大会や伝統ある競技大会運営のため必要である。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	各競技団体が実施しているため、見直しはない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	休止等を行うことによって、競技力向上が図られず、市民スポーツの振興に影響し、ひいては市民の体力低下につながるため。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	コロナ禍が落ち着き、スポーツ活動が活発化し、大会参加者が増加したと思われるため。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的達成のために必要な構成である。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	玉名ハーフマラソン大会はすでに補助金が減額されており、他助成金も活用する等、コスト削減はできている。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	年間を通じての事業ではなく、1大会として実施するため、デジタル導入等のコスト面から考えれば、現状から変更する必要はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	できる限り民間に委託するなど、民間ノウハウを活用しているので、これ以上の余地なし。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	競技の性質が異なるため、統合は難しい。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	大会毎に適正な参加料(受益者負担)が設定されている。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)		
	3大会については、現状維持により大会開催を行う。 全国大会等出場激励金についても前年度同予算の下、継続し事業を行う。		
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 全ての大会において、交付金を支給することにより円滑に大会が開催された。 全国大会等出場激励金についても予算の範囲内で適正に交付した。		
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する 判断理由及び見直し・改善の 具体的内容 【26】	3大会については、本補助金がないと運営が難しいため、現状維持により大会開催を行う。 全国大会等出場激励金については、市民のスポーツ意識向上を促すものであり、継続して事業を推進する。		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	全国大会激励金においては、アスリートとしてトップ層を目指す者の一助となるだけでなく、競技スポーツの向上や地域に対する貢献意欲の醸成など、指導者としての人材育成にも繋がることから、今後も玉名市から全国大会出場する市民への激励として継続的に交付すべき事業であると考え、また、全九州高校レスリング大会をはじめとする本市にゆかりのある各種大会への補助金においても、本市におけるスポーツの振興を図るうえで必要であると考え。	評価責任者 古賀 祐一郎
----------------------	--	-----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	体育施設管理運営事業		所管課 【2】	スポーツ振興課										
			作成者(担当者)	徳永 信太										
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり						重点 施策 【4】						
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実												
	施策区分	(3)体育施設の整備充実と利用促進						<input type="checkbox"/> 該当						
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法、各施設条例及び条例施行規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市公共施設適正配置計画、玉名市スポーツ推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし													
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業													
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務													
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【						款	10	項	6	目	5	細目	1

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 桃田運動公園管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	開館日数(複数施設の場合は最も開館している施設)	日	358	358	358	357
② 岱明、横島、天水地区施設管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	開館日数(複数施設の場合は最も開館している施設)	日	357	357	358	357
③ 蛇ヶ谷公園管理運営事業	施設設備も含め、適正な管理運営を行う。	開館日数(複数施設の場合は最も開館している施設)	日	358	358	358	357

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	
1	体育施設等総利用者数	市スポーツ施設を利用した総人数(公園や広場を除く)	人	250000	250000	250000	450000
				297505	328327	355530	
2							

《事務事業の評価》

評価視点			判断理由
(必要性) [20]	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	市の公共施設であるため市が実施すべきものである。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	施設の有効利用を図っており、見直しの必要はない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	市民の余暇活動、スポーツの拠点及び健康づくりに影響する。
有効性 [21]	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	コロナ禍からスポーツ活動が活発化したことによる利用者数の増加と思われる。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的達成のために必要な構成である。
効率性 [22]	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	直営している桃田運動公園については、指定管理制導入等の検討の余地がある。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	学校開放事業については、公共施設予約システムを導入し、手続きの簡素化を図っている。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	直営している桃田運動公園については、指定管理制導入等の検討の余地がある。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	他に類似する事業はない。
公平性 [23]	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	適正な受益者負担の徴収を行っている。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	施設の運営等については各管理者と協議を重ねよりよいサービスが提供できるように努める。新型コロナウイルス感染症については、感染症法の5類感染症に位置付けられたことにより、施設利用者が増え経営は回復に向かっている。
次年度の方向性 [25]	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	施設の運営等について、各指定管理者と協議・連携を図り、よりよいサービスができることが図れた。また、コロナ禍が落ち着き、市民のスポーツ意欲が高まり、利用者増につながることができた。
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
	利用者にとって、安心・安全な体育施設であるよう引き続き、環境の維持及び向上に努める。また、施設運営の更なる合理化とともに公共サービスの維持も考慮しつつ、市民にとって、利用しやすい体育施設の目指していく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [26]	体育施設においては、設置者として施設の利用促進、機能充実、安心・安全の確保など、適正な管理運営を図る必要があることから、各施設の管理者と協議を重ね、よりよいサービスが提供できるよう運営の改善を図るとともに、経年の劣化等に伴う施設・設備の改修を必要に応じてまた継続的に実施しなければならないと考える。	評価責任者 古賀祐一郎
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	多目的競技場建設事業		所管課 【2】	スポーツ振興課		
			作成者(担当者)	酒井 裕之		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり				重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(3)スポーツ活動の充実				
	施策区分	(3)体育施設の整備充実と利用促進				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	■ 市長公約 ■ 法令、県・市条例等【 スポーツ基本法 】 ■ その他の計画【 市教育振興基本計画、玉名市スポーツ推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 ■ 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業					
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 6 目 5 細目 3					

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	サッカーの競技人口はスポーツの中でもトップクラスであり、玉名市でも多くの市民がサッカーを楽しんでいる。本市は、熊本県下で公共のサッカー場を唯一保有していない市である。サッカー施設の建設について市民から強い要望があるが、現在の情勢を考えサッカー以外にもラグビー、陸上等でできるよう市民が利用しやすい施設を検討する必要があると考える。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市多目的競技場
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名市に多目的競技場を建設し、多種目に渡り利用、軽スポーツ等の複合利用により幅広い利用者層を確保し、市外から競技者等を招くことで地域活性化の推進や競技スポーツの振興を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ ■ 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度 】 【 H26 年度から 】 【 年度～ 年度まで 】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 ■ 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 ■ 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	サッカー競技人口が増加傾向にあるが、玉名市は熊本県内の14市の中で唯一サッカー場を保有していない。市長公約であり新市建設計画に掲げるサッカー場の建設について、市の基本構想を策定し、施設の整備方針を定めるとしていたが、社会情勢の変化、ニーズの拡大により多目的競技場で整備していくこととした。		【15】 事務事業を構成する細事業(1)本
			① 多目的競技場建設検討事業
			②
			③

《事務事業実施に係るコスト》

			R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
		【16】 小 計	0	0	0	0	0
	職人 員 の 費	職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
		【17】 小 計	0	0	0	0	
	合 計		0	0	0	0	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 多目的競技場建設検討事業	サッカー・ラグビー場建設にあたって会議を開催する。	会議回数	回	0	0	7	6
②							
③							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	
1	サッカー・ラグビー場建設の進捗率	建設工事進捗率	%	0	0	30	60
				0	0	30	
2							

《事務事業の評価》

評価視点			判断理由
(必要性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり	
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	防災拠点整備事業として、令和9年度供用開始に向けて国土交通省主導のもと計画的に事業が進められているため
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的達成に必要な構成となっている。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	防災拠点整備事業として、国土交通省、関係課と協議を行い計画的に事業を進めているため
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	防災拠点整備事業として、国土交通省、関係課と協議を行い計画的に事業を進めているため
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	防災拠点整備事業として、国土交通省、関係課と協議を行い計画的に事業を進めているため
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	目的が類似する他の事業がないため
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容) 多目的競技場建設については、建設規模及び候補地選定等、内容が多岐に渡るため慎重な協議・検討が必要である。 サッカー場整備については、菊池川元玉名地区河川防災センター整備計画における敷地一部スペースを活用し整備することを協議済。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 菊池川元玉名地区河川防災センター整備計画における敷地一部スペースを活用し、サッカーやラグビーができる広さを有する多目的広場を整備する方向で協議を進めた。
次年度の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容	R9年4月の供用開始に向け、引き続きサッカーやラグビーができる広さを有する多目的広場の整備について協議を進める。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	多目的競技場建設事業においては、防災拠点整備事業で防災ステーション内の土砂貯蔵スペースを利用して、サッカー・ラグビー等の多種競技の出来るスペースを確保できるよう国と協議により言質が得られている。現時点では、サッカーやラグビーができる広さを有する多目的広場を整備する方向で進んでおり、引き続きR9年4月の供用開始に向けて具体的な整備内容、運営について国土交通省及び関係課との協議を進める。	評価責任者 古賀 祐一郎
【26】		